

一般工事用高所作業車

山口県の建造物の最も高いのはトクヤマの発電所の煙突で約 200m 程下関の海峡ゆめタワーは 153m(展望室 143m)、山口県庁は 69,26m、海峡大橋は世界的な豪華客船が通り抜けるように海面から約 31.9m です。瑠璃光寺の高さは 31.2m です。32m というのはそんな高さです。一般的なビルで 10 階ほどの高さに届く。そんな高い高所作業車から電気工事等でよく使用される 10m、12m の高所作業車まで光東リースでは様々な高所作業車を提供できます。さらに高所作業車の安全の作業な為に教習センターも開設しています。高所作業車のプロフェッショナルである弊社をご遠慮なくご利用ください。

#01003

#01003

#01003

#01003

#01004

#01007

#01007

5t未満限定準中型免許
で運転できる車種もあります。
お問い合わせください。

バケット昇降が
バッテリーで可能

#01032

#01032

#01033

#01028

#01027

#01022

#01022

#01017

#01017



	SK12C1RN	AT121TG(F)	AT121TG(R)	SS12A	SK10C1RN	SK10C2RN	AT100TT5
最大地上高：	12.1m	12.2m	12.3m	11.9m	9.9m	9.7m	9.9m
最大作業半径：	9.9m	10.2m	10.2m	10.48m	8.9m	7.6m	7.6m

AT-320XTG

AT-320TG

SJ30ARS

AT-280XTG

AT-270TG

SK22A

AT-220TG

AT-170TG

SK17A

最大地上高：32m

最大地上高：32.2m

最大地上高：30.6m

最大地上高：28m

最大地上高：27m

最大地上高：22.1m

最大地上高：22.4m

最大地上高：17.2m

最大地上高：17.1m

最大作業半径：17m

最大作業半径：18.6m

最大作業半径：16.2m

最大作業半径：15.7m

最大作業半径：15.7m

最大作業半径：14.6m

最大作業半径：14.6m

最大作業半径：15.9m

最大作業半径：15m

屈折ブーム高所作業車

ふところの深い作業も柔軟に対応、
マイナス地上高での作業範囲も深くカバーする
屈折ブームで作業性が格段に向上します。



垂直直線移動

コンピュータ制御で、
ブーム長さと起伏角度を
帰ることにより
バスケットが垂直に
直線移動可能



水平直線移動

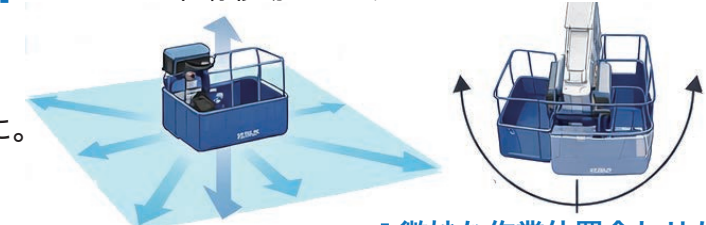
ブーム長さと旋回、
バスケットスイングが
コントロールされて
水平直線移動



A5モーションコントロール

で水平・垂直移動

ブームの伸縮、起伏、旋回、屈曲ブーム、
バスケットスイングの5モーションを制御。
1レバー操作で水平・垂直方向へバスケット
をスムーズに直線移動できます



伸縮式屈曲ブーム

AT-255CG は伸縮式屈曲ブームを採用。
再仕込み作業などであと少しのアプローチを可能に。



#01006

AT-255CG

最大地上高：25.5m
最大地下深さ：7.1m
最大作業半径：13.5m
バスケット積載荷重：200kg または 2名
架装対象車：4.0t

#01005

AT-195CG

最大地上高：19.6m
最大地下深さ：4.8m
最大作業半径：11.1m
バスケット積載荷重：200kg または 2名
架装対象車：3.0t

#01001

AT-157CG

最大地上高：15.7m
最大地下深さ：3.9m
最大作業半径：10.2m
バスケット積載荷重：200kg または 2名
架装対象車：3.0t



微妙な作業位置合わせが可能な バスケットスイング

フェンスの裏側へも、
しっかりアプローチできます。

デッキ型高所作業車

トンネル内工事・高架下工事・看板取付工事
高速道路防壁工事などにデッキ型高所作業車を！！！！

デッキ型高所作業車は、同時に複数人と機材を載せて作業可能な
広いデッキを持つ高所作業車で、本体をローラジャッキで細かく移動
させながら、作業床も上下・左右・前後に細かく動かせるのが特徴です。

■主な機能 ※注：機種によって機能が異なるものもあります。

作業床の昇降・張り出し

トンネルのアーチに合わせて作業床を階段状に
傾斜させたり、左右に張り出して、覆工全面を
近接目視・触診できるようにします。

・移動しながらの連続作業

ローラジャッキ等で車両を少しずつ走行させ
ながら、床高さを保持して連続的に点検・補修
作業を行います。

・高所・重作業対応

最大積載荷重 1,000kg クラスで複数人+機材を
載せて、10m~20m まで高さを上げて作業可能。

・安全装置

過積載・車体傾斜・高さ制限の各規制装置、非常停止スイッチ、
落下防止ネットやジッパーなど、転落・接触事故を防ぐための
機能を備えます。

・操作性向上機構

専用レバーによる水平・垂直・斜め移動、4 モーションコントロール
などで、ピンポイントで覆工面へアプローチ可能です。



移動作業が可能な ローラジャッキ仕様					移動作業が可能な ローラジャッキ仕様				
#01009	#01007	#01011	#01008	#01011					
TZ10A	TZ10C1RR	AT-115S	TZ12C1RR	AT-120S					
最大値上高	9.9m	9.8m	11.5m	12m	12m				
最大作業半径	5.17m(最大荷重時)	7.4m	9.53m	9.8m	9.9m				
最大積載荷重	1,000kg	1,000kg	800kg	1,000kg	1,000kg				
※最大作業半径は積載荷重 100kg 時の値									
移動作業が可能な ローラジャッキ仕様									
#01011	#01008	#01015	#01021	#01021					
AT-120SR	AT-120SRM	AT-150S	AT-200S	TZ20C1FS					
最大値上高	12m	11.9m	14.8m	19.7m	19.7m				
最大作業半径	9.8m	8.3m	10.9m	11.4m	10.9m				
最大積載荷重	1,000kg	1,000kg	1,000kg	1,000kg	1,000kg				

最大地上高 32m 対応！高所作業車ラインナップ！

橋梁点検車

高架道路・橋梁の点検に
光東リースの橋梁点検車を！！

橋梁点検車は、橋梁の側面・下面・橋脚などを安全かつ効率的に近接目視点検・補修するための高所作業車の一種です。

■主な機能

・ブーム（アーム）伸縮・屈折

車両側面から長いブームを橋の外側へ張り出し、さらに下方・水平方向へ折り曲げることで、橋の下へ回り込める構造になっています。

・作業用プラットフォーム（デッキ・バスケット）

作業員が乗るカゴ・デッキがブーム先端についており、橋の下面や主桁側面などに「人を近づける」役割を持ちます。

・デッキの旋回・昇降機構

機種によってはデッキを 180°旋回させたり、高さを段階的に昇降させることで、主桁間の狭い隙間や桁内部、橋台近傍へのアプローチ性を高めています。

・高所からの安全接近機能

橋の上から橋脚・側面・裏面へ作業員を安全かつスピーディーに接近させることを目的として設計されており、足場を組まずに近接点検ができます。

・交通規制・占有幅への配慮

一車線規制・片側交互通行で作業できるよう、占有幅を抑えた中型車などもあり、通行車両への影響を減らすよう工夫されています



#01035

YZ30FC-SB

最大地上深さ：2.8m

最大地上高：3.6m

最大作業半径：3.3m

ブーム長さ：2.27～3.27m

ブーム旋回角度：左 190°右 190°

デッキ積載荷重：200kg もしくは 2 人
デッキ旋回角度：90°
デッキ外寸（拡張時）：2.19 x 0.61 x 1.0m
デッキ外寸（縮小時）：1.39 x 0.49 x 0.95m



#01034

SF77B1FR

最大地上深さ：5.94m

最大地上高：7.19m

最大作業半径：5.88m

ブーム長さ：3.4～4.8m

ブーム旋回角度：左 100°右 100°

ブーム起伏角度：0～80°

デッキ積載荷重：200kg もしくは 2 人
デッキ旋回角度：180°（速度：40 秒）
デッキ外寸（拡張時）：7.61 x 0.65 x 0.96m
デッキ外寸（縮小時）：3.83 x 0.76 x 0.96m



#01030

BT-110

最大地上深さ：7.3m

最大地上高：6.8m

最大作業半径：5.6m

ブーム長さ：3.185～5.36m

ブーム旋回角度：左 105°右 70°

ブーム起伏角度：-15～60°

デッキ積載荷重：200kg もしくは 2 人
デッキ旋回角度：110°（速度：31 秒）
デッキ外寸：2.52 x 0.91 x 1.0m



#01031

BT-200

最大地上深さ：5.4m

最大地上高：7m

最大作業半径：5.1m

ブーム長さ：3.06～5.11m

ブーム旋回角度：左 105°右 10°

ブーム起伏角度：-15～60°

デッキ積載荷重：200kg もしくは 2 人
デッキ旋回角度：115°（速度：40 秒）
デッキ外寸：3.0 x 0.85 x 0.9m

最大地上高 32m 対応！高所作業車ラインナップ！

高所作業車の運転に必要な資格とは？

高所作業車を操作するためには労働局長登録教習機関で開講される「高所作業車運転技能講習」を受講して、修了することが必要です。

これは労働安全衛生法にもとづいて決められています。

作業床の高さが 10m 以上の高所作業車を操作する為に必要な資格で、今回紹介するトラック型の高所作業車は作業床 10m 以上なのでこの資格取得が必要です。

光東でも教習センターで以下の様に技能講習を開講しています。

なお、作業床の高さが 2m 以上 10m 未満の高所作業車を操作する場合は、「高所作業車運転特別教育」の受講と修了が必要です。



光東教習センター開講の高所作業車運転技能講習内容

講習科目		範囲	時間
学科	高所作業車の作業に関する装置の構造及び取扱の方法に関する知識	高所作業車の種類及び用途、作業装置及び作業に関する付属装置の構造及び取扱の方法	5時間
	高所作業車の運転に必要な一般的な事項に関する知識	高所作業車の運転に必要な力学、感電による危険性	2時間
	関係法令	労働安全衛生法、同施行令及び労働安全衛生規則中の関係条項	1時間
実技	高所作業車の作業のための装置の	基本操作、定められた方法による作業床の昇降等	6時間

光東教習センターでの受講には普通自動車運転免許証を持っていることが必要です。



詳細と申込はこちらから



高所作業車の走行に必要な免許の種類

今回掲載した高所作業車の AT-320TG は大型免許、AT-320XTG,SJ30ARS は中型、その他はほとんどは準中型免許が必要な車種ですが、**運転される前に必ず車検証で総重量をご確認の上以下の該当する免許を保有していることを確認後運転するようにしてください。**

免許証の種類	車両総重量	最大積載量
準中型免許（5t限定） ※H19.6.2～H29.3.11までに普通免許を取得した者	5t未満	3t未満
準中型免許 ※H29.3.12以降に準中型免許を取得した者	3.5～7.5t	2～4.5t
中型免許（8t限定） ※H19.6.1以前に普通免許を取得した者	8t未満	5t未満
中型免許 ※H19.6.2以降に中型免許を取得した者	7.5～11t未満	4.5～6.5t未満
大型免許	11t以上	6.5t以上